

あ と が き

年度末近くに、やっと平成2年度の1号(vol.6 No.1)が刷り上がりました。

(社)日本透析医会の活動も年を追う毎に盛んで、災害時救急透析医療小委員会のコンピュータによる患者データ集計作業も開始され、合併症対策委員会による「長期透析と合併症」のシンポジウムも、盛況に開催されました。アクセス研究会ワーキンググループによる研究も予定されています。

今号に掲載しましたが、当雑誌も会員諸兄の玉稿により豊かな内容の雑誌に育てていただきたく思います。

(長谷川 記)